

【戦略5】畜産業の競争力強化（その1）

国内外の競争激化を踏まえたブランド力の向上や規模拡大等により、畜産業の競争力強化をめざしていく。

(1) 畜産生産 ～山形生まれ山形育ちの畜産物の生産拡大とブランド力向上～

① 地域で支える畜産クラスター推進プロジェクト

【目標指標】

目標指標	戦略策定時	現状値	H31目標値	H32目標値
畜産による産出額	447億円(H26)	471億円(H28)	495億円	500億円

【前年度までの主な取組状況、評価・課題等】

<前年度までの主な取組状況>

○若手の畜産担い手の育成

- ・肉用牛繁殖や酪農経営の後継者等の若手生産者を主な対象とする技術向上研修会を開催

○畜舎等の生産基盤強化の支援

- ・畜産経営競争力強化支援事業(県単)により、省力化・生産性向上のための施設整備や機械導入を支援
- ・畜産クラスター事業(国庫)により、H30は肉用牛や肉用鶏の規模拡大に向けた5地区(事業費計約13億円)の施設整備を支援



<評価・課題等>

○若手担い手の継続的な育成

- ・若手の生産者を中心に飼養管理技術の習得や相互の交流促進が図られ、担い手の育成が進んでいる。
- ・戸数の減少が続いているため、後継者等の担い手を継続的に育成・確保していくことが必要

○生産基盤の更なる強化

- ・施設整備や機械導入への支援により、増頭が図られ、担い手の生産基盤の強化が着実に進んでいる。
- ・畜産経営の安定化と畜産による産出額500億円の達成に向けて、引き続き、規模拡大等の取組みを地域ぐるみで支援していくことが必要

【今後の推進方向】

- 技術向上研修会の開催や、特に肉用牛繁殖・酪農経営の後継者等を対象に重点指導などできめ細かな支援を実施し、畜産担い手を育成
- 意欲ある担い手に対して、国庫や県単事業により生産基盤の拡大を支援し、経営の安定化を図るとともに競争力を強化

【31年度の主な取組み】

○若手の畜産担い手の育成

- ・肉用牛の担い手育成のための和牛塾(研修会)の開催(2回)
- ・酪農の担い手育成のための研修会の開催(1回)

○畜舎等の生産基盤強化の支援

- ・畜産経営競争力強化支援事業(県単)により施設整備や機械導入を支援
- ・国の平成30年度補正予算の畜産クラスター事業(国庫)により、肉用牛、豚、肉用鶏において、規模拡大や畜産物加工に取り組むための6地区(事業費計約44億円)の施設整備を支援



畜産クラスター事業でH30に整備した大規模肥育牛舎(真室川町)

【戦略5】畜産業の競争力強化 (その2)

(1) 畜産生産 ～山形生まれ山形育ちの畜産物の生産拡大とブランド力向上～

③ 酪農生産性向上・消費拡大プロジェクト

【目標指標】

目標指標	戦略策定時	現状値	H31目標値	H32目標値
乳用牛産出額	81億円 (H26)	89億円 (H29)	92億円	93億円
経産牛1頭当たり生乳生産量	7,254kg (H23～27)	7,758kg (H29)	7,600kg	7,700kg

【前年度までの主な取組状況、評価・課題等】

<前年度までの主な取組状況>

○乳用牛のベストパフォーマンス実現の支援

- ・牛群の能力検定の普及や飼養管理技術の向上のためのセミナーを開催。
- ・後継牛の確保に向けた性判別精液の活用促進を図るための現地研修会を開催(2か所)



○県産牛乳等の消費拡大

- ・山形県牛乳普及協会との連携により、県産牛乳・乳製品を利用した料理コンクールの開催等を通じて、県産牛乳等のPRを実施
- ・山形県ミルクブランド推進協議会との連携により、商談会やイベント等での県産ヨーグルト等のPRを実施

<評価・課題等>

○乳用牛のベストパフォーマンス実現の支援

- ・セミナーや現地研修会の開催等により、飼養管理技術や乳用牛の能力の向上が図られ、1頭当たり乳量は増加しているものの、高能力後継牛の確保対策等に継続的に取り組み、生乳生産量の拡大を図っていくことが必要

○県産牛乳等の消費拡大

- ・県産ヨーグルト等の販路拡大が進んでいるものの、牛乳・乳製品における産地間競争が激化していることから、県産飼料利用や資源循環等のこだわりをアピールした販促活動が必要

【今後の推進方向】

- 乳用牛の能力を最大限発揮できる飼養管理の実践と、高能力が期待されるゲノミック評価※済み性判別受精卵を活用した優良後継牛の安定確保の取組み等により、生乳生産量を拡大
 - ※遺伝子レベルで能力を評価
- 本県の酪農と乳業が連携し、県産飼料利用等のこだわりのある生乳生産等による高付加価値化を一層推進するとともに、その特徴を活かした商品を牽引役として県産牛乳・乳製品全体の販路を拡大

【31年度の主な取組み】

○乳用牛のベストパフォーマンス実現の支援

- ・牛群の能力検定の実施への指導・支援(対象50戸)
- ・ベストパフォーマンス実現セミナーを開催(1回)
- ・高能力が期待されるゲノミック評価済み性判別受精卵の導入と乳用牛への移植を実施



○県産牛乳等の消費拡大

- ・山形県牛乳普及協会と連携した県産牛乳・乳製品の消費拡大のための取組み(イベントでのPR等)を実施
- ・山形県ミルクブランド推進協議会と連携した新商品の開発支援や販路開拓の取組みを実施

